

第六十五回
帝國議會
貴族院

健康保險法中改正法律案特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

健康保險法中改正法律案

癘兵院法中改正法律案

委員氏名

委員長 伯爵松木 宗隆君

副委員長 男爵松尾 義夫君

公爵島津 忠承君

子爵梅園 篤彦君

川崎 卓吉君

中川小十郎君

金杉英五郎君

平尾喜三郎君

金岡又左衛門君

昭和九年三月十日(土曜日)午前十時九分

開會

○委員長(伯爵松木宗隆君) ソレデハ是ヨ

リ開會イタシマス、當委員會ニハ付託議案
ガ二件アリマスガ、健康保險法改正法律案
ヲ先ヅ議題ト致シマシテ審議ニ入りタイト
存ジマスガ、御異存ゴザイマセスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(伯爵松木宗隆君) 御異議ナイト
認メマス、然ラバ一應當局ヨリ御説明ヲ願

ヒタイト存ジマス

○政府委員(齋藤隆夫君) 本案提出ノ理由

竝ニ概要ニ付キマシテ極メテ簡單ニ御説明
申上ゲタイト存ジマス、御承知ノ如ク現行
ノ健康保險ノ被保險者ノ中ニハ強制的ニ被
保險者ト爲ル者ト任意ニ包括シテ被保險者
ト爲リ得ル者トノ二種ガアルノデゴザイマ
ス、即チ工場法又ハ鑛業法ノ適用ヲ受ケマ
スル工場又ハ事業場ニ使用セラルル者ハ、
總テ健康保險ノ強制被保險者ト爲ッテ居リ
マス、ソレ以外ノ種々ノ工業的事業ニ使用
セラルル者ハ任意ニ包括シテ被保險者ト爲
リ得ルノデゴザイマスガ、此度ノ改正ノ要
點ハ現在任意加入ト爲ッテ居リマスルモノ
ノ中デモモノヲバ強制被保險ニ入レヨウトス
ルノデアリマス、健康保險ガ實施セラレマ
シテカラ既ニ七年ノ歲月ヲ經マシタガ、ソ
ノ實施當初ニ於キマシテハ、斯ル制度ハ我
國ニ於キマシテハ全ク未經験ノモノデアリ
マシタガ、各當事者ノ間ニ種々不安モ
アリ實施上困難ナ點モアリマシタガ、其ノ
後次第ニ法ノ本旨ガ諒解セラルルニ至ルト
共ニ事務上ニモ改善ヲ加ヘテ參リマシタガ、
事業ノ基礎モ漸ク定マリ、今日ニ於キマシ

テハ其圓滑ナル施行ヲ見、所期ノ效果ヲ

舉ゲツアル次第デアリマス、然ルニ現行
健康保險法ノ適用範圍ハ工場鑛山ノ從業者
約二百萬人ニ限局セラレテ居リマシテ、其
保護ヲ受ケテ居リマス者ハ本邦勞働者ノ一
部分ニ止ッテ居ルノデアリマス、理想ト致シ
マシテハ、工場鑛山勞働者ノミナラズ種々
ノ事業ニ使用セラルル勞働者其ノ他小額所
得者ニモ健康保險ヲ擴張適用スルノガ良イ
ト考ヘマスガ、我國産業並國家財政ノ現狀
ヲ顧ミマスレバ漸進的ニ保護ノ範圍ヲ擴張
スルコトガ最モ策ノ得タルモノト考ヘラレ
マスノデ、今回ハ最モ擴張ヲ必要トシ且ツ
適當ト認メラレマスル部分即チ現在任意加
入ト爲ッテ居ル種々ノ事業ノ中ノ或モノニ
從事スル者ヲ強制加入ニシヤウトスル次第
デアリマス、以上ノ趣旨ニ從ヒ現行法ニ於
テ健康保險ニ任意加入シ得ル事業ノ中、第
一、鑛物ノ採掘又ハ採取ノ事業、第二、物
ノ製造、加工、選別、包裝、修理又ハ解體ノ
事業、第三、電氣ノ傳導又ハ動力ノ發生若
ハ傳導ノ事業、第四、地方鐵道法又ハ軌道
法ノ適用ヲ受クル事業、第五、其ノ他陸上
ニ於テ爲ス貨物又ハ旅客ノ運送ノ事業ニシ

テ勅令ヲ以テ指定スルモノ、以上五ツノ種

類ノ事業ガ當時五人以上ノ勞働者ヲ使用ス
ル場合ニ限り之ヲ使用セラルルモノハ強制
保險ノ適用ヲ受クルコト致シタノデアリマ
ス、斯様ニシテ改正案ニ依リ新ニ強制被保險
者ト爲ルベキ者ノ數ハ約二十九萬人デアリ
マス、右ノ改正ノ結果、土木工事又ハ工作
物ノ建設、保存、修理若ハ破壊ノ工事ニシ
テ主務大臣ノ指定スルモノ、貨物積却ノ事
業、其ノ他勅令ヲ以テ指定スル事業及今回
強制保險ノ方ニ入レルモノニ至リマシタ五
ツノ種類ノ事業ニシテ當時五人未滿ノ勞働
者ヲ使用スルモノニ使用セラルルモノヲ任
意ニ包括シテ保險ニ加入スルコトヲ得ルモ
ノトシテ規定イタシタノデアリマス、以上
ガ今回ノ改正ノ要領デアリマスガ、此ノ改
正法律案ハ昭和十年四月一日カラ之ヲ施行
スル豫定デゴザイマスガ、之ヲ實施イタシ
マスルガ爲ニ豫メ必要ナ事項ニ付キマシテ
ハ昭和十年一月一日カラ之ヲ施行スル必要
ガゴザイマスノデコノ主旨ノ附則ヲ設ケタ
次第デアリマス、他ノ點ニ付キマシテハ御
質問ニ應ジマシテ御答ヲ申上ゲタイト思ヒ
マス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ

バ御願イタシマス

○委員長(伯爵松本宗隆君) 御質疑ガゴザイマスレバ此際願ヒタイト存ジマス

○金杉英五郎君 此改正ノ事項トハ關係ガ

ナイヤウニ思ヒマスルガ、此機會ニ伺ッテ置キタイコトハ最初施行セラレタル時ト今日ト比ベマスルト、治療費ノ點數ニ於テ非常ニ減ジラレテ居ル、割ガ惡クナッテ居ルヤウニ思ハレマスガ、漸次割ノ惡イヤウニシタノハ、總テノ工業ナドノ不振ト云フコトカラ來タヤウニ承ッテ居リマスガ、今日ノ場合ハ稍、工業ナドノ復活シタヤウナ狀態ニモ見エマスルガ、此際點數ニ付テ多少増額サレルト云フヤウナ御意思ハアリマセヌカ、ソレヲ一ツ伺ッテ置キタイ、何トナレバ此コトニ付テハ隨分醫者ガ困難シテ居ル、非常ニ料金ノ薄イ爲ニ非常ニ困難シテ居ル、最初施行セラレタ時ニ比較イタシマスルト、四分位ノ減額ニナッテ居ルヤウニ思ハレマスガ、其點ハドウ云フ御考デアリマセウカラノ御尋ネニ御答ヘ致シマスルガ、醫療費ノ此一點單價ノ狀況ヲズツト調べテ見マスルト、昭和元年度以來年々多少ノ相違ハゴザリマスルガ、著シイ相違ハナイヤウデゴザイマス、元年度ニハ一點單價ガ全國平均

イタシマシテ、一二・一七錢、二年度ニハ一二・二三錢、三年度ニハ一四・〇四錢ト云フヤウナ狀態デゴザイマスガ、途中ヲ抜カシテ申上ゲマスガ、六年度デハ一四・三二錢、七年度デハ一四・一六錢ト云フ風ニナッテ居リマシテ、大體似テ居ル程度デ、寧ロ元年度、二年度ヨリハ稍、宜シクナッテ居ルト云フヤウナ狀態デゴザイマス、ソレカラ一時御承知ノ通りノ人頭割請負制度デアリマス所ノ、人頭割ノ單價ヲ少ク減ラシタコトガアルコトハ御話ノ通りデゴザイマスルガ、今後此點ヲドウ云フ風ニ致スカト云フ點ニ付キマシテハ、十分考究シタル上デ適當ニ處理ヲ致サナケレバナライノデヤナイカト思ッテ居リマス、又今後ノ契約ニ付キマシテ、如何ヤウニ致スカト云フコトニ付キマシテハ、考究ヲ致シテ居リマスノデ、此際マダ如何ヤウトモ申上ゲル程度ニハ至ッテ居リマセヌ

○金杉英五郎君 只今御話ニ依リマシテ、能ク分リマシタ、又私モサウ云フコトニ考ヘテ居リマシタ、非常ニ額ノ少ナイ場所ト、ソレカラ今御話ニナッタヤウナ場所ト土地ニ依リマシテ、大變ノ差ガアルノデアリマス、非常ニ少ナイ場所カラハ色ミナ訴ヘガ出テ居ル、ソレヲ均一ニスルト云フヤウナ

コトヲ當局デ御訓示ニナルトカ、或ハ御計畫ニナルトカ云フ御意思ハゴザイマセヌカ、區々ニナッテ居ル、其少ナイ方ハ全體ニ付テ少ナイノカト思ッテ訴ヘテ來ルヤウナモノガ居リマス、其邊ニ付テノ御考ヲ伺ッテ置キタイ

○政府委員(丹羽七郎君) 只今ノ御尋ノ點ニ付キマシテハ、誠ニ御尤ナル御尋ネデアルト思ヒマス、現在ノ制度デ御承知ノ通りニ、府縣ニ依リマシテ、一點單價ガ少シツツ變ッテ居ルヤウナ狀態デアリマス、此點ハ只今金杉サンノ御注意ノ通り我ミモ成ベクサウ云フヤウナ差異ノナイヤウニシタイト云フ考ヲ以チマシテ、年來醫師會ニ對シテ注意ヲ喚起シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、唯今日迄ノ所極メテ適當ナル方策ガマダ發見サレテ居ナイト云フコトカラ、其儘ニナッテ居ルノデゴザイマスルガ、今後ノ契約ニ付キマシテモ、其點ハ十分注意ヲ喚起シテ、成ルベク其差ノ少クナルヤウニ取扱ヒタイ、斯様ニ存ジテ居ルヤウナ次第デアリマス

○金岡又左衛門君 此健康保險法ト云フモノハ、是ハ只今政府ノ御説明ニナリマシタ如ク、社會政策上年々此效果ヲ收メツツアルト云フコトデ、今度其範圍ヲ擴張ヲシテ、

之ヲ實施セラレルト云フ改正案ノ趣旨デアリマスガ、此健康保險法ト云フモノハ、是ハ政府ノ事業デ社會政策上之ヲ有効適切ナルモノトシテ行ハレル、我國ニ於テハ御承知ノ如ク此醫療診療、ソレニ對峙シテ、藥劑給付、詰リ醫藥ノ兩立ガ國法ヲ以テ確立シテ居ルノデアアル、此健康保險法ヲ實施スルニ當ッテ醫療法ト藥劑給付ト、此兩方ノ途ヲ以テ、之ヲ實施セラレルト云フコトヲ、其實施ヲセラレナイト云フノハドウ云フ譯デアリマスカ、是ハ既ニ藥劑師法ト云フモノガ制定セラレテ、國法ガ既ニ之ヲ指定シテ居ル、又其道ニ於テモ國家ガソレノ其方法ヲ具備サレテ居ルト云フ狀態ニ於テ、之ヲ醫療法ト藥劑給付法ト兩制度ノ下ニ之ヲ實施セラレナイト云フノハ是ハ政府ハドウ云フ御考デアリマセウカ、ソレヲ一ツ御伺イタシタイと思フノデアリマス

○政府委員(丹羽七郎君) 金岡サンノ御尋ニ御答イタシマスガ、御話ノ通り現在法制ハ醫師ト云フモノノ存在ヲ認メルト同時ニ藥劑師ノ存在ヲ認メテ居ルノデアリマスルガ、現行ノ一般ノ醫藥ノ制度ハ御承知ノ通り所謂任意分業ノ制度デゴザイマシテ、醫者ノ所ヘ參リマシテ醫療ヲ受ケル、サウシ

テ其處カラ藥ヲ貰フコトモ出來レバ、又處方箋ヲ貰ヒマシテ、藥劑師ニ付テ調劑ヲ求メルト云フコトモ患者ノ任意、患者ノ便宜ニ從ツテ行ハルト云フコトガ我國ノ一般ノ制度デアルトハ既ニ御承知ノ通りデゴザイマス、就キマシテハ健康保險ノ方デモ、其一般ノ我國ノ實情ニ副ヒマシテ、其通りニ取扱フト云フコトガ適切デアルト考ヘテ、本案ニ於キマシテモ其通りニ取扱フテ居ル譯デアリマス、御承知ノ通り我ミガ健康保險法ヲ擴張シマスル所以ノモノハ、今日マ

ス、他ノ被保險者以外ノ者ニハ藥ヲ出シテヤルガ、被保險者ハ藥ハ出シテヤレヌ、オ前ハ藥劑師ニ行ケト云フコトヲ強制スルヤウニナリマスレバ、被保險者ヲ特殊ニ區別シテ、差別ヲ設ケテ取扱フヤウニナリマスノデ、却テ氣ノ毒ナ差別待遇ナル虞モゴザイマスノデ、是ハ先ヅ現在ノ所一般社會ノ醫療制度ト同ジヤウナ取扱ヲ致ス、斯ウ云フ立前デ健康保險法ハ進ンデ居ルヤウナ次第デゴザイマス

○金岡又左衛門君 只今ノ御説明ニ依ルト、從來ノ方法ハ醫藥醫療法、醫藥給付一途ニ於テ行ハレテ居ル方法デアルガ故ニソ

レニ做ツタ、又被保險者ガ醫者ニ掛ルノ場法ノ保護モナク、其他ノ法規ノ保護モナイノデアリマスカラ、切メテハ醫者ニ掛カレルト云フコト位ハ國家ノ法制ヲ以テ致シテ行カナケレバナラヌト云フ考ヲ以チマシテ、今回擴張ヲ致シテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ今度此法律ニ依リマシテ、醫者ニ掛レルト云フコトニナリマスル以上ハ一般ノ患者ガ醫者ノ所ヘ行ツテ受ケマスル待遇方法ト同ジヤウナ取扱ヲ受ケルコトガ最モ宜シイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、若シサウデゴザイマセヌト、醫者ノ所ヘ被保險者ガ行ツタ時分ニハ、オ前ニハ藥ハ出セ

○政府委員(丹羽七郎君) 今諸外國ノ例ニ付テ御述べデゴザイマシタガ、我が國ト致シマシテハ此開業醫等ガ特別ニ發達イタシテ居リマスルノデ、患者ガ開業醫ニ信賴ヲシテ、唯藥ヲ貰フト云フ以外ニ色ニ診察シテ判斷ヲシテ貰フトカ、或ハ色ニ手當方法ヲ相談スルトカ、又非常ニ醫者ト懇意ニシテ其診療ヲ受ケテ居ルヤウナ實情ニアルノデアリマスルガ、是ガマア一ツノ長所デモアルト思ヒマス、又ソレデ全然宜シイカト云フ點ニ付テハ今後モ尙ホ考究ヲ要スル問題ハゴザイマセウ、併ナガラ患者ノ方カラソレデハ困ルト云フコトデ醫師ニハ診察ヲ受

業ノ下ニ健康保險ハ強制分業ニナツテ居ル、其他ノ歐米先進國ニ於テモ此制度ハ確立サレテ居ル、サウシテ醫療ノ途、藥劑給付ノ途ハ完全ニ是ハ行ハレテ居ルノデアリマス、サウ云フ大勢カラ言ヒマシテモ、又此社會健康保險上ノ見地カラ申シマシテモ舊來ノ制度ハ斯ウデアアルカラソレデ宜イト云フコトハ是ハ餘リニモ時流ヲ見ザルモノデナイカト思ハレルノデアリマスガ、此際健康保險法ヲ必要ト認メテ、愈、進ンデ之ガ擴大セラレルト云フ際ニ於テサウ云フ兩制度ヲ御執リニナツタ方ガ最モ理想的デハナイカト思フノデアリマスガ、如何デアリマスカ

ケ、藥劑師カラハ藥ガ貰ヒタイト云フ場合ニハ其方法ヲ執ルコトガ出來ルノデゴザイマスルカラ、現在ト致シマシテ被保險者或ハ工場主ト云フモノノ立前カラ申シマシテ、特ニ不便デアルト云フ點ハナイノデハナイカト存ジマス、從ヒマシテ一般ガ任意分業デアリマスレバ健康保險モ其通りデ宜シイノデハナイカト考ヘテ居リマス、併ナガラ今日ヤツテ居リマスルコトガ決シテ完全デアルト云フコトヲ私ハ御答ヲ致シテ居ル次第デハナイノデアリマシテ、此上ニモ尙ホ一層ノ研究ヲ積ミマシテ、殊ニ私共ト致シマシテハ健康保險法ノ立前カラ、健康保險ト云フモノガ能ク成績ヲ擧ゲマスルヤウニ十分ナル努力ヲ致ス積リデゴザイマスルカラ、其方面カラ改善ヲ要スル點ガアリマスレバ著々改善ヲ致サウト期シテ居ル次第デゴザイマス、唯醫藥分業ガアルトカ云フヤウナ一ツノ原理ヲ擧ヘマシテ之ヲスル、シナイト云フヤウナコトヲ御答ヲ致ス譯デハナイノデゴザイマシテ、現在ノ制度ハ能ク

○金岡又左衛門君 只今ノ御答辯ハ何モ其兩制度ヲ實施シナクテモ實施スベク既ニ設

攻究ヲ致シマシテ、改善スベキ點ハ著々之ヲ改善シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

ケラレテアルンダカラ患者ノ方カラ診察ハ診察、藥劑給付ハ藥劑給付デ求メラレル自由ガアルノデアアルカラ、是ハ一向差支ナイ、被保險者亦保險契約者ノ利便ノ上カラ斯ウ云フヤウニナツテ居ルト云フ御話デアリマス、ソレハ患者カラ求メルト云フコトハ當然ノコトデアリマシテ、ソレハ御答辯ヲ要シナクテモ、患者ハ處方箋ハ處方箋、藥劑ハ藥劑ト云フ風ニ、求メルノハ自由デアリマス、併ナガラ苟モ政府ノ事業トシテヤルナリ、又國家ガ必要ト認メテ此法制ヲ施クト云フコトニナリマス、矢張り法ト云フモノハ指導シナケレバナラス、規定トシテサウ云フ風ニ指導スベキガ法デアツテ、今ノヤウナ御話デアツテハ法モ何モ要ラナイ譯デ、皆各自ノ自由方針デ行ケル譯デアリマスカラ、矢張り法ヲ以テ之ヲ指導シテ此法ガ最善ノ法デアル、是ガ保健上、衛生上最モ理想的デアルト云フコトヲ、方角ヲ目指シテ指導シナケレバナラスと思フ、今金杉サンノ御質問ノ點數ニ對シテモ非常ナ不同ガアル、安イ所ガアリ高イ所ガアルノゴザイマス、是ハ平均ノ點數ハ一點二十錢、ソレニ對シテ今政府ノ御報告ニ依ルト十四錢トカ十三錢トカ云フコトニナル、ソレハ非常ニ安イ所ト非常ニ高イ所ガアルニ違ヒナイト思ヒマ

ス、ソレデハ即チ醫療ノ……ソレハ藥價ガ詰リ不同ヲナス基準ヲナスノデアアル、其不同ガアル點カラ結局點數ニ於テモ非常ナ不均衡ガアリ、又平均率以下ニナルト云フコトガ、是ガ既ニ政府ノ健康保險ヲ實施セラルル趣意、其理想ニ餘程此處ニ悖ル所ガアルノデハナイカト考ヘル、是等ノ點ニ付テ一層御考究ヲ願ヒタイと思フノデアリマス、委員長ニ私モ申上ゲマスルガ、此健康保險ハ國家衛生保健上ニ關スルハ餘程重大問題デアルト思ヒマス、政府委員デアアル衛生局長又内務大臣ノ御出席モ願ツテ、御伺ヒヲ致シタイ、斯様ニ思フノデアリマス、左様ナ其時期ヲ御取計ラヒ願ヒタイと思ヒマス

○委員長(伯爵松本宗隆君) 只今御請求ノ件ハ政府ニ通ジマシテ、適當ナ時ニ説明ニ出席セラルルヤウニ要求イタシテ置キマス

○金杉英五郎君 只今金岡君カラノ御質問ハ一應尤ナヤウニモ考ヘラレマスガ、健康保險法施行後ニ、藥劑ノ方ノ側ノ人ガ、之ニ不滿ガアツテ、二年程此法ニ應ジナカツタ時代ガアルト記憶シテ居リマスガ、其間ニ健康保險法施行上、如何ナル不便ガアツタカナイカト云フヤウナコトモ、金岡君ノ御質問ニ餘程關聯スル所ガ大ナルモノガアラウト信ズルノデアリマス、此事柄ニ付キマシ

テハ、何レ討論ニ入リマシタ時ニ、私ハ申述ベタイと思ヒマスガ、此間二年ノ間健康保險法ニ應ジナカツタ時代ニハ、ドウ云フ不便ガアツタカ、之ヲ一應承ハツテ置キタイと思ヒマス

○政府委員(丹羽七郎君) 只今金杉サンカラノ御尋ネノアリマシタ通りニ、昭和六年度ノ契約ニ當リマシテ、藥劑師會ニ於キマシテハ、醫藥分業ガ實行セラルルニアラザレバ、契約ニハ應ジナイト云フ意見ノ下ニ、ツイ當局ト致シマシテハ、契約ニ望ミマシタケレドモ、到頭契約ガ出來ナカツタヤウナ始末デゴザイマシテ、其後二年間、契約ナシニ參ッノデアリマス、只當局ト致シマシテハ、健康保險法ガ效果ヲ擧ゲマス爲ニ、一面ニ於キマシテハ、醫師ノ協力ヲ俟チ、一面ニ於テハ藥劑師ノ協力ヲ俟ツト云フコトガ、大局ノ上ニ必要ダト考ヘマシテ、昨年度醫藥分業ト云フ問題ト離レマシテ、新ニ契約ヲ締結イタシマシタ次第デゴザイマスルガ、其間ノ約二年ノ間ニ於キマシテハ、被保險者ガ藥劑師ニ付テ、藥ヲ貰ヒマシタ場合ニハ、其藥ノ代價ヲ被保險者ニ支拂ウト云フ方法ヲ取ツテゴザイマシテ、其結果ハ大體ニ於テ被保險者ヨリ不便デアアル、不都合

デアルト云フヤウナ聲ハ聞カズニ參ッタヤウナ次第デゴザイマス

○金岡又左衛門君 只今政府委員ノ御答辯ニ依リマス、健康保險法ノ契約ハ、藥劑師ト二箇年ノ契約ヲ杜絶シタ、其間ニ於テ、差當リ不便モ感ジナイト云フコトノ、御答辯デアリマシタガ、政府委員ニ私御尋ネ致シタイノハ、不便ヲ感ジナイト云フコトハ、之ハ何モ始メカラ不便ヲ感ジナイヤウニ、法其モノガ規定ヲシテ居リマスカラ、不便ヲ感ズル譯ハナイ筈デアアル、即チ一方ノ醫藥兩方トモ之ニ供スル途ニナツテ居リマスカラ、其出發點ガ既ニ不便ヲ感ジナイノデアリマスカラ、藥劑師會ガ、之ヲ契約ヲ杜絶イタシマシタ所、何モ現狀ニ於テ變リハナイ、藥劑師ガ其契約ヲ拒絕シタ所以ノモノハ其必要ヲ認メラレナクナツテ居ル、認メラレナクナツテ居ルカラ其契約ヲ拒絕シタ、其證據ニ初メ健康保險ガ實施サレタ一年ハ醫師會ノ方ニ給付サレタモノガ九百萬圓ト致シマスレバ、初メノ一年ハ一萬圓、ソレカラ段々五千圓、四千圓、二千圓、遂ニハ一千圓ニ低下ヲ致シタ、是ハ處方箋ガ出ナイカラデ、處方箋ガ出ナイモノニ向ッテハ、被保險者ハ之ニ向ッテ調劑ヲ求メル途ガナイ、ソレハ健康保險法其モノガ不便ヲ感

ジナイヤウニ出來テ居リマスカラデ、ソレハ契約ノナクテモ一向ニ不便ガナイト私ハ考ヘテ居リマス、然ルニ其後ニ至ッテ、實業方面、労働方面、商工會議所、實業團體、サウ云フ團體カラ此醫療法並ニ藥劑給付ニ向ッテ然シテ居ル、是ハ不都合デアルト云フコトノ陳情請願ガ盛ニ行ハレタ、斯ウ云フ事實モ聞イテ居リマス、其不便ヲ感ゼラレナイト云フコトハ、法其モノガ不便ヲ感ゼナイヤウニ出來テ居ッタコトと思ヒマス、其點ハ如何デスカ

○政府委員(丹羽七郎君) 只今ノ御尋デゴザイマスルガ、健康保險法ト致シマシテハ、申上ゲル迄モナク、從來醫療ニ遠ザカッタ、醫療機關ヲ利用スルコトガ出來ナカッタ、労働賃銀ノ低イ者、或ハ生活程度ガ低クアリマシテ、一旦病氣ニナリマシタ場合ニ、醫者ニ掛レナイ、是ハドウモ國民保健上由々シキコトデアアルノデアリマシテ、我國ノ國家産業ノ發展ノ爲ニモ、労働力ト云フモノノ重大性ハ固ヨリ論ズル迄モナイコトデアリマス、此労働者ノ健康ヲ維持スルト云フコトハ、極メテ大切ナコトデアアル、然ルニ事實病氣ニナッテモ醫者ニ掛レナイ、或ハ病氣ニナッタ爲ニ生計ヲ維持スルコトガ出來ナイト云フコトニ相成リマシテハ、甚ダ憂

フベキ事態デアリマスルノデ、健康保健法ト致シマシテハ、醫療機關ノ利用出來ルヤウニ、平素使用主、労働者ガ僅ナ掛金ヲ致シテ居リマシテ、イザ病氣ニナッタ時、現在アル制度ヲ利用イタシマシテ、其病氣ヲ治スト云フ立前ガ此健康保險法デアリマシテ、健康保險法自體ト致シマシテハ、何等特別ノ規定ヲ設ケテ居ル譯デアリマセヌ、今日ノ醫療制度其モノヲ、普段掛金ヲ致シテ置キマシテ利用イタスヤウニスル、サウシテ健康ヲ維持サセルト云フコトガ健康保險法ノ立前ニナッテ居ルノデゴザイマス、申上ゲル迄モナイコトデゴザイマスルガ、斯様な目的ヲ以テ健康保險法ガ出來テ居リマ

スノデ、只今御尋ノヤウナ時期ニ際會イタシマシテモ、健康保險法ノ立前ト致シマシテ、醫療ノ機關ヲ利用出來タ、從テ被保險者ヨリ不便ヲ訴ヘテ來ルヤウナコトガナカッタ、斯様ニ申上ゲテ居ルヤウナ次第デゴザイマシテ、健康保險法ガソコニ特別ニ何モ新シク制度ヲ設ケルトカ、規定ヲ作ッタトカ云フコトデハ決シテゴザイマセヌガ、唯々斯様な生活ヲ致シテ居リマスル者ヲシテ醫療ノ機關ヲ利用出來ルヤウニ、斯ウ云フ立前デ健康保險法ガ出來テ居ルヤウナ次第デゴザイマス、御答ヲ致シマス

○金杉英五郎君 藥劑師側ニ於テ二年間健康保險法ニ從ハナイ、即チソレニ加入セズニ居ッテ、再び加入スルニ至ッテ理由ハドウ云フコトデアリマスカ、ソレデヤチヨット承ッテ置キマス

○政府委員(丹羽七郎君) 藥劑師側トシテドウ云フヤウナ考ヲ持ッテ居リマシタカ、十分或ハ御尋ニ御答ガ出來ナイカモ知レマセヌガ、私共ガ局ニ當リマシテ交渉ヲ致シテ新シク契約ノ出來マシタ所以ハ、斯様な國家ノ重要ナル制度ニハ藥劑師モ協力シタイ、我々ト致シマシテモ御協力ガ願ヒタイ、斯ウ云フ大局ノ上カラ考ヘマシテ、醫師、藥劑師共ニ健康保險ニ協力シヤウ、斯ウ云フマア大所、高所カラ考ヘタモノデアッタラシク、ソレデ契約ガ出來タ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○子爵梅園篤彦君 本案ニ依リマスト、從來任意包括被保險者デアリマシタ者ノ中、新ニ強制被保險者トシテ五項目ニ互ルモノガ加ヘラレテ居リマスルガ、政府ニ於キマシテハ、被保險者ノ範圍ノ擴張ヲ此程度ヲ以テ十分ナリト御認メニナッテ居ルノデアリマセウカ、或ハ又將來時勢ノ進運ニ從ッテ其必要ニ應ジテ更ニ擴張セラレルト云フ御意思ハナイノデアリマセウカ、念ノ爲ニ

チヨット御尋シマス

○政府委員(丹羽七郎君) 梅園子爵ノ御尋ニ御答イタシマスガ、御承知ノ通り健康保險法ハ大體工業の労働者ヲ目標ニシテ從來規定ヲ設ケテ居ッタ譯デアリマス、ソコデ強制被保險者ニ今度ハ擴張イタシマスル部分モ、從來任意包括加入トナッテ居リマシタルモノヲ移シテ強制加入ニ致ス、斯ウ云フコトニ致シタノデゴザイマスガ、茲デ是ダケデ十分カト申シマスレバ、將來更ニ考究ヲ要スル點ガ多アルト考ヘテ居リマス、其第一ハ御覽ノ通りマダ任意包括加入ニ土木建築、或ハ貨物積卸等ノモノヲ殘シテゴザイマス、是ハ此領域ニ於テモ健康保險ノ必要ハ感じテ居リマスガ、労働者ノ使用ノ狀況ガ他ノ工業トハ餘程異ッテ居リマシテ、御承知ノ通り臨時的ノ労働者ノ方ガ寧ろ本體ニナッテ居ルヤウナ狀況デゴザイマスカラ、之ニ健康保險法ヲ適用イタシマスルニ付キマシテハ、特別ノ組織ヲ考ヘルトカ、特別ノ方法ヲ考ヘルトカ云フヤウナコトガ尙ホ必要デアアル爲ニ、是ハ今回尙ホ任意包括加入ノ方ニ殘シテ置キマシテ、一層研究ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、其外商業使用人ノ問題ナドモゴザイマス、或ハ一般ノ職員階級ト云フヤウナ問題モゴザイマス、

或ハ中小商工業者、或ハ其他一般ノ獨立ノ小所得者、或ハ農民ト云フヤウナモノニモ健康保險ト云フヤウナ一ツノ方法ニ依リマシテ醫療ヲ行ナツテ行クト云フコトガ必要

デナイカト考ヘテ居リマス、御承知ノ通り今日ノ農村等ニハ、所謂農村醫療問題トシテヤカマシイ所ノ一ツノ問題ガゴザイ

マスルガ、極ク最下層ノ農業者ニ付キマシテハ、御承知ノ通り救濟制度ヲ致シテ居リマシテ、救濟ト致シテ醫療ヲ行ナツテ居リ

マスルガ、ソレ以上ニ於テ獨立ノコトガ出來ルモノニ付キマシテハ、自治的ニ健康保險ノ如キ制度ガ要ルノデハナイカト斯様ニ

考ヘテ居ル次第ゴザイマシテ、尙ホ此點ハ十分考ヘタイト思ッテ居リマス、又併ナガラ此左様ナモノニ健康保險ノヤウナ制度ヲ

設ケマスル場合ニ、今日ノ如キ此健康保險ノ中ニソレヲ加ヘヤウト云フ考ハ有ッテ居

リマセヌデ、別箇ノ組織トシテ別箇ナ方法デ又考ヘテ居リマス、ソレ等ノ農民ナリ小

所得者ニ適切ナル、適當ナル方途ヲ同時ニ案出シナケレバナライノデハナイカト斯

様ニ考ヘテ居リマス、併シ段々擴メテハ行キタイト斯様ニ考ヘテ、折角研究ハ致シテ

居ルヤウナ次第デアリマス

○子爵梅園篤彦君 能ク解リマシタ

○委員長(伯爵松本宗隆君) 金岡君、衛生局長ガ見エマシタカラ御質疑ガアレバ願ヒマス

○金岡又左衛門君 私ガ御伺イタシマスノハ、此度健康保險法ガ實施……擴張サレ

コトニ、茲ニ法案ガ御提出ニナツタノデアリマスガ、健康保險ハ是ハ政府ノ事業トシテ、最モ此衛生保險法上確實ニ又理想的ニ是ガ

治療濟生ノ途ヲ施スト云フハ立前ノモノデアルト心得テ居リマスガ、現在ニ於ケル是迄ノ仕來リニ於ケル此醫療法、藥劑交付、詰

リ一方ニ於テ醫療モシ、又之ニ藥劑ヲ給スルト云フ此方法ノ下ニ於テ、是デ間然スル所ガナイカ、是デ宜イト云フ御考デアリマ

スカドウカ、之ニ付テハ尙ホ改善スベキ點ガアルカ、ドウ云フコトニ御考ニナツテ居リマスルカ、衛生局長ニ御伺イタシタイト

思ヒマス

○政府委員(大島辰次郎君) 只今ノ御質問

ハ、國家トシテ藥劑師ナル制度ヲ法ニ於テ認メテ居リマシテ、其藥劑師ニ調劑權ヲ認

メテ居ル傍ラ、醫師ノ所ニ參リマスル所ノ患者ニ藥劑ヲ交付スルト云フコトヲ認メテ

居ルガ、サウ云フ醫師ガ治療ヲシマスル患者ニ對シテ、藥劑交付ト云フコトヲ認メル

ガ適當デアルト思フカト云フ御質問ノヤウニ拜承イタシマスガ、斯様ナ御質問デアリマスカ

○金岡又左衛門君 サウデス

○政府委員(大島辰次郎君) 此點ニ付キマシテハ政府ト致シマシテモ從來カラ此醫藥

分業ノ問題ニ付キマシテハ色ト慎重ニ考ヘテ居ル所デアリマス、併ナガラ此問題ハ社會ノ狀態、ソレカラ患者ノ便否ト云フヤウナ

モノヲ能ク考慮イタシマシテ決定スベキ問題デアルト考ヘルノデアリマス、詰リ我國

ニ於ケル永年ノ一ツノ習慣ト云フヤウナコトモゴザイマスルシ、單ニ永年ノ隋力的ノ

習慣ト云フバカリデナク、患者ガドチラガ患者トシテ便利トスルノデアアルカト云フヤ

ウナ、患者トシテノ立場ト云フコトモ考ヘテ見ナケレバナラヌノデアリマシテ、今直

ニ此問題ヲ強制的ニ實施イタシマシテ、以前ノ醫師カラ調劑スルト云フコトヲ全然

奪ッテシマウト云フヤウナコトヲ致シマスル

○金岡又左衛門君 只今政府委員カラ其御意思ノアル所モ伺ヒマシタガ、私ハ今醫藥

分業ノ可否、サウ云フコトヲ申スノデアアリマセヌ、又ソレハ付託案件以外ノコトデア

リマス、健康保險ニ關聯ヲ致シテ居リマス故ニ、此社會大衆ノ保健衛生上ニ關スル

問題トシテ御尋ネヲシテ居ルノデアリマス、此被保險者ノ便否、從來ノ此仕來リトカ云

フヤウナ時代ハ今ヤ過去ッテ居ルノデハナイカ、被保險者ニ致シマシテモ成ルベク短

日月ノ内ニ之ノ治療ノ目的ヲ達スル、又保險契約者ニ致シマシテモ保健經濟ノ上カ

ラ言ヒ、亦產業ノ能率ノ上カラ言ッテモ、之ヲ適確ニ短日月ニ確實ニ此保健ヲ維持スル、

健康ヲ恢復スルト云フノガ目的デアアルノデアリマス、今ヤ此社會ノ保健衛生ニ關スル

思想ト云フモノハ非常ニ發達シテ居ル、モウ覺醒ノ時代デアリマス、一般ノ此出版物、

言論界ニ於キマシテモ、實業雜誌、文學雜誌、其他專門ノ色ミノ雜誌ニ於テモ三分ノ

一ハ衛生保健上個人衛生、家庭衛生ノコトヲ滿タサレテ居ルト云フ時代デアリマス、

又新聞ニ致シマシテモ此家庭衛生、此一般ノ衛生設備ノ普及ト云フコトニ對

シテハ相當ニ紙面ヲ費シテ居ルコトカラ見マシテモ是ハ相當ニ政府ガ御關心ヲ拂

ハナケレバナラヌコト、私ハ思フ、サウ
云フ時代ニ於テ唯從來ノ習慣ガ斯ウデア
ル、最近ノ仕來リガ斯ウデアルト云フヤウ
ナコトヲ以テシテハ是ハ却ッテ被保險者ノ
爲ニハナラナイ、又事業家ノ爲ニモナラナ
イコトナンデ、モウ各種ノ輿論ニ於テ是ハ
明確ナコトデアリマス、ソレデアリマスガ
故ニ此健康保險ダケニ於テモ此醫藥同業ノ
制度ヲ社會局ト御協調セラレナカッタト云
フコトハ非常ニ私ハ遺憾トスルノデアリマ
ス、是ハ時代ノ要求デアルノデアリマス、
又歐米諸國ノ現在ノ實情カラ見マシテモ、
是ハ殆ド日本ダケデアリマス、斯ウ云フ關
係カラ申シマシテ、此衛生局ガ社會局ト此
點ニ對シテ御協調ニナラナカッタト云フコ
トハ非常ニ遺憾トスルノデアリマス、衛生
局長ハ此今後ノ實施ニ付テハ、一般ノ大衆
衛生保健上、又社會ノ要求ノ求ムル所ニ依ッ
テ大イニ考慮ヲスルト云フコトデアリマ
ス、其點ニ付テハ多少諒ト致ス所デアリマ
スガ、此コトヲ私ハ深く申上ゲテ置キタイ
ト思ヒマス

○政府委員(大島辰次郎君) チョット一ツ
補足シテ申上ゲテ置キタイと思フノデス、
ソレハ、先程私ノ御答イタシマシタ言葉ガ
足りナカッタカモ知レマセスガ、私共ト致シ

マシテハ、從來ノ慣習ニノミハレテ居ル
ト云フコトハ全然ナイノデアリマス、先程
モ申上ゲマシタ通り、單ニ從來ノ惰力的ノ
慣習ト云フコトニノミハレテ、斯ウ云フ
風ナ制度ヲ現在認メテ居ルノデハナイト云
フコトヲ、先程モ申上ゲマシタガ、免ニ角
現在ノ社會ノ狀態カラ申シマシテモ、亦患
者ノ便利ト云フ點カラ申シマシテモ、現狀
ノ儘デ、現在トシテハ行クノガ至當デハナ
イカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、
併ナガラ私共ト致シマシテモ、既ニ國家ガ
藥劑師ト云フ制度ヲ認メマシテ、調劑ノ出
來マスル立派ナ能力ノ素養ヲ持ッテ居ル者
トシテ之ヲ認メマシテ、之ニ免許ヲ與ヘテ
居リマスルヤウナ趣意カラ致シマシテ、出
來ルダケ此藥劑師ト云フモノヲ國家トシテ
活用イタシマシテ、國民保健ニ貢獻イタス
ヤウニ致シマスコトハ固ヨリノ所デアリマ
スノデ、今回ノ醫師法ノ改正ニ基キマスル
附屬命令ノ改正ニ當リマシテモ、新ニ規定
ヲ設ケマシテ、患者ガ醫者ニ對シテ藥劑ノ
交付ニ代ヘテ處方箋ノ交付ヲ要求イタシマ
シタ場合ニハ、之ニ處方箋ヲ交付シナケレ
バナラスト云フヤウナ規定ヲ新ニ置キマシ
タノデアリマスガ其外ニ、同ジク醫師法ノ
改正ニ基キマスル附屬命令ニ於キマシテ、

病院其他醫師三名ヲ置イテ居リマスル診療
所ニ於テハ、藥劑師ヲ置カナケレバナラヌ
ト云フヤウナコトヲ新ニ設ケタノデアリマ
ス、サウ云フ意味ニ於キマシテ、政府ト致
シマシテモ、藥劑師ト云フモノヲ出來ルダ
ケ其能力ニ應ジテ國民衛生ノ上ニ貢獻ガ出
來マスルヤウニ、努力ハ致シテ居ルノデア
リマスガ、今後共ニ此點ニ付キマシテハ出
來ルダケノ努力ヲ拂ヒタイト云フヤウニ考
ヘテ居ルノデアリマス、念ノ爲メ此コトヲ
一言附加ヘテ置キマス

○委員長(伯爵松木宗隆君) 金岡君ニ伺ヒ
マスガ、尙ホ他ニ政府委員ニ付テ御要求ガ
ゴザイマスデセウカ

○金岡又左衛門君 只今申上ゲタダケデ、
其外ハアリマセヌ

○委員長(伯爵松木宗隆君) 金岡君ニ申上
ゲマスガ、大臣ハ今朝ハ差支ヘテ臨席出來
ナイト云フコトデアリマス、又他日ニ要求
イタシテ見マス

○金岡又左衛門君 サウデスカ

○委員長(伯爵松木宗隆君) 諸君ニ御諮リ
致シマスガ、今日ハ此程度ニテ散會イタシ
テ宜シウゴザイマスカ……次會ハ月曜午前
十時ヨリ開會イタシマス、本日ハ是ニテ散
會イタシマス

午前十一時二十一分散會
出席者左ノ如シ

委員長 伯爵松木 宗隆君
副委員長 男爵松尾 義夫君
委員 公爵島津 忠承君
子爵梅園 篤彦君
川崎 卓吉君
金杉英五郎君
平尾喜三郎君
金岡又左衛門君

政府委員

內務政務次官 齋藤 隆夫君
內務省衛生局長 大島辰次郎君
社會局長官 丹羽 七郎君
社會局部長 富田愛次郎君
同 川西 實三君

昭和九年三月十日印刷

昭和九年三月十一日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局